

平和・共生 個性・創造 自立・発展

沖縄国際大学

Okinawa International University



Dream Designに出演した写真上段左より、平良隆志君(首里東高校出身)、仲村圭人君(球陽高校出身)、中山美勇士君(糸満高校出身)
下段左より、大城優紀さん(那覇高校出身)、國分いずきさん(コザ高校出身)、久手堅結菜さん(那覇商業高校出身)(関連記事P4)

学報第93号(2009.12.25発行)

CONTENTS

沖縄国際大学への米軍ヘリコプター墜落後、5年目を迎えて(声明) --	P2	平成21年度対策講座及び検定試験等実施状況 -----	P9
エコアクション21キックオフ宣言式を行いました -----	P3	日商簿記検定2級を合格して -----	P9
沖縄県5大学連携科目「金融理論と実務の基礎」開設に関する協定 を締結しました	P3	国際交流センター -----	P10
経済学部比嘉聖教授に名誉教授の称号記が授与されました -----	P3	外国語センター -----	P10
DREAM DESIGN 始めました -----	P4	図書館情報 -----	P10
13号館周辺等環境整備工事 を行いました -----	P5	平成21年度(前期) 沖縄国際大学総合研究機構活動報告 -----	P11
ゴメス・コンサルティング社「大学サイトランキング」で本学公式サイト が22位にランキング!	P5	南島文化研究所 -----	P11
那覇空港に設置の本学看板をリニューアルしました -----	P5	産業総合研究所 -----	P11
平成21年度 学内定例講座実施報告 -----	P5	沖縄法政研究所 -----	P11
2008年度 国外研究員報告 -----	P6~P7	沖縄経済環境研究所 -----	P11
教育実習報告 -----	P6	平成21年度 特待奨学生30名に証書交付 -----	P12
平成21年度 社会福祉援助技術現場実習及び精神保健福祉援助実習報告	P6	大学弁当リーグ ベジフルーツチキンを発売しました -----	P12
平成21年度 後援会支部総会の開催 -----	P7	学生インタビュー -----	P12~13
平成21年度 事務職員夏期総合研修会開催 -----	P7	第38回沖国大祭 -----	P14~15
キャリア支援課からの情報 -----	P8	平成21年度 研究費交付決定額一覧 -----	P16
就職ガイダンスははじまる -----	P8	平成20年度 事業報告(抜粋)の開示 -----	P17
就職相談 -----	P8	平成20年度 決算報告 -----	P18~19
就職関係行事 -----	P8	学内人事 -----	P18~19
県外就職サポート -----	P8	2010(平成22)年度 入学試験日程 -----	P20
企業インターシップを実施 -----	P8	2010年度 AO入学試験実施 -----	P20
就職内定報告 -----	P9	オープンキャンパス実施 -----	P20
受講呼びかけメッセージ -----	P9	大学院9月入学試験実施 -----	P20

沖縄国際大学への米軍ヘリコプター墜落後、5年目を迎えて(声明)

沖縄国際大学 理事長・学長 富川 盛武

今年には沖縄国際大学に米軍ヘリコプターが墜落して、5年目の節目に当たる。事件直後から、理不尽で悲惨な事件に対し米軍をはじめ関係組織に強く抗議し、飛行中止を求めてきた。しかし、未だ本学の上空を飛行し、問題解決がなされていない現状を憂い、ここに改めて、普天間基地を使用する航空機の即時飛行中止とともに、普天間基地の一日も早い閉鎖・返還を日米政府をはじめ関係組織に要求する。

2004年8月13日午後2時15分頃、本学本館(1号館)ビルに米海兵隊所属のCH-53D型ヘリコプターが墜落・炎上した。この事件により、本学の中核である本館が使用不能となり、大学の機能が麻痺する事態に陥った。この理不尽、不条理極まりない事件は大学のみならず、すべての県民、すべての国民を恐怖に陥れ、メディア報道により世界を震撼させた。

事件後、米軍関係者が陳謝し、政府関係者、政党関係者、その他多くの方が本学を訪れ、お見舞いを賜った。その際、「二度とこのような悲惨なことが起こらないように努力、協力する」とのことであった。

しかし、多くの人々の抗議・要求をよそに、未だ本学上空を飛行している。遺憾至極である。大学は、もとより、静かな環境の中で勉学・研究をする場である。例え、いかなる国際政治論、安全保障論で飛行を正

当化しても、大学の静寂・安寧を脅かし、生命すらも脅かす飛行は大学にとって認められない。

「安全、安心、平和」は思想、信条を超えて万人の求めるところである。本学は、地域に根ざし、地域に開かれた大学として、地域と経験を共有しつつ連携して、「安全、安心、平和」のために、普天間基地を使用する航空機の即時飛行中止を求める。

2009年8月13日

「普天間基地を使用する航空機の飛行中止を求める学内の集い」を開催

8月13日、本学米軍ヘリコプター墜落事件現場において「普天間基地を使用する航空機の飛行中止を求める学内の集い」を墜落事件が起きた同時刻頃の午後2時10分から開催しました。

今回大学主催として開催し、約200名の方が参加しました。

集いの中で富川盛武学長は「本学は、地域に根ざし、地域に開かれた大学として、地域と経験を共有しつつ連携して、「安全、安心、平和」のために、普天間基地を使用する航空機の即時飛行中止を求める。」と声明を読み上げました。

その他図書館にて、写真・映像展を開催しました。



声明を読み上げる富川盛武学長



学内の集いの様子



図書館で開催された写真・映像展



学生代表意見発表を読み上げる総合文化学部 社会文化学科4年次 親川博敏君(名護高校出身)

エコアクション21キックオフ宣言式を行いました。

7月31日、5号館107教室において、沖縄国際大学エコアクション21キックオフ宣言式を行いました。

「エコアクション21」は、平成8年に環境省(旧環境庁)が策定した中小企業、学校、公共機関向けの環境経営システム(環境マネジメントシステム)であり、環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築するとともに、環境への取り組みに関する目標を持ち、行動し、結果をとりまとめ、評価し、報告するための手法です。

宣言式で富川学長は「本学は、沖縄の亜熱帯海洋性気候の恩恵を受け37年の年月を重ねてきました。

それゆえ、自然環境の保全に努め、地域の文化・歴史・社会を大切にし、次世代に引き継ぐ責務を有するものと考え、「沖縄国際大学環境方針(平成21年1月21日制定)」を制定し、エコアクション21を活用した環境活動を行ってまいります」と宣言しました。

この他、本学エコアクション21導入委員会(委員長:名城敏・経済学部教授)がエコアクション21キックオフ宣言を行うまでの経緯を説明、また記念講演として、NPO法人沖縄県環境管理技術センター理事長・名嘉光男氏による「なぜ沖縄国際大学にエコアクション21が必要か」と題し、講演いただきました。

本学は今年度末を目途に認証取得を目指し、学生・教職員が一丸となって環境活動に取り組んでいきます。



キックオフ宣言を行う富川盛武学長



エコアクション21導入委員会(委員長:名城敏・経済学部教授)



記念講演を行うNPO法人沖縄県環境管理技術センター理事長・名嘉光男氏

沖縄県5大学連携科目「金融理論と実務の基礎」開設に関する協定を締結しました。

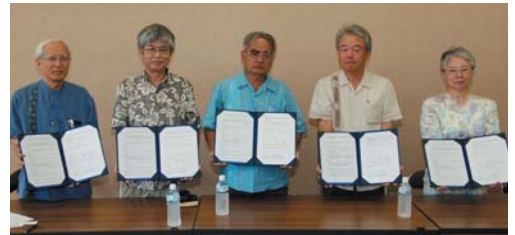
7月31日、沖縄県庁5階記者会見室において、沖縄県内5大学(沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、名城大学、琉球大学※順不同)連携科目「金融理論と実務の基礎」開設に関する協定調印式が行われました。

今回の連携科目は、5大学の金融担当の教員が共同し、県内金融機関の協力を得て、学生の金融知識の向上を図ることを目的とし、NPO法人沖縄風の協力を得て開設されました。

これまで、県内大学間の単位互換協定は締結されていましたが、今回1つのテーマで5大学が連携するのは初めてです。

記者会見で各大学関係者は「金融分野の人材を育てることは、新たな各大学の発展につながる。世界の金融というのはどういうものか学生に伝えていきたい。」と期待を寄せています。

対象者は5大学の学生で、各大学5名以内、5大学の学生で1つのクラスを構成し今年度10月から開講されています。なお、実務解説は、県内金融機関から派遣された外部講師が担当予定です。



経済学部比嘉堅教授に名誉教授の称号記が授与されました。

4月22日、本館5階応接室において経済学部比嘉堅教授に名誉教授の称号記が授与されました。

比嘉先生は「プレハブ校舎での授業が懐かしく思います。和を大切に個性ある大学づくりを目指して下さい。名誉教授の称号をいただき心から感謝申し上げます」とお礼を述べられました。

富川学長は「創立当初からご尽力賜りありがとうございます。今後ともご指導いただきたいと思います」と述べられました。

比嘉先生を含めて、本学において同称号記を贈られた名誉教授は37名となります。



称号記を授与される経済学部 比嘉堅教授(写真右)

DREAM DESIGN始めました。

6月1日より本学では「DREAM DESIGN」メッセージを、受験生の皆さまをはじめ、多くの方に知っていただくために、プロモーションビデオを作成いたしました。その関連映像は、高等学校での説明会や、テレビコマーシャルなどでも放映しています。

また、夢を応援するナビゲーションブックも発行いたしました。

沖国大からはじまるあなたの夢ストーリーを応援するために、在学生や教員、卒業生の夢をはじめ、沖国大の魅力が満載です。

在学中のサポート体制や、就職や資格のこと、専門学校との違いや、県外大学との比較、クラス・サークル活動、奨学金についての情報を掲載しています。

各高等学校の進路指導室などへ配布いたしました。

「DREAM DESIGN」とは

沖国大は、学生も教職員も、卒業生も、夢を持ち、それを活力にして明るい学生生活を、人生をおくっています。

夢の大切さを知っている大学…夢を描き、それをデザインすることで明日への力にしてゆく大学…それが沖国大です。沖国大を志願する人も、しない人も、みんなが夢を持ち、それを共有することのすばらしさを感じてほしい。

夢を生きる力に。沖縄の力に。

沖国大はあなたの夢を応援します。

詳しくは下記URLか携帯電話用QRコードをご覧ください。

URL: <http://www.okiu.ac.jp/dream/index.html>

携帯電話用QRコード



ハンドルネーム:絶対合格(将来は、生徒のみんなから信頼される最高の先生になりたい!)

本学からの応援コメント:「生徒から信頼される」教師になりたい。教育の最も大切なことは教師と生徒が信頼で結ばれていることです。あなたはきっとすばらしい教師になるでしょう。

ハンドルネーム:ソンドリア(ソーシャルワーカー、それが今一番やりたい職業であり、自分の将来の夢です。)

本学からの応援コメント:まずはじめに、あなた自身が現時点で“将来の夢をソーシャルワーカー”と意識していることに感心します。本学では、4年間で一人前のソーシャルワーカーになれるように新たなカリキュラムの中でさまざまな授業を組んでいます。3年次には現場実習もありますが、その時にはあなたの希望する現場で実習に臨んでほしいと思います。本学では、教職員が専門的な視点からあなたの夢をサポートします。

ハンドルネーム:モグモグ(大学へ行って、教員免許を取り、中学の先生になり、テニス部の顧問になる。)

本学からの応援コメント:学校生活で、生徒と一番多く時間を過ごすのは部活です。部活にはドラマがあります。そのドラマのシナリオをつくるのは顧問です。部活の生徒と泣き笑う教師になることを期待します。

ハンドルネーム:娘さん(沖国大に合格して、勉強もサークルも両立するぞ!)

本学からの応援コメント:「娘」さんの言うとおり、大学生活では、専門的な知識を得ることができる「授業」、人間関係力を育てていく「サークル活動」、それぞれとても大切です。両立するのは大変かもしれませんが、「娘」さんのように熱い気持ちがあれば大丈夫。来年の4月に「娘」と、沖縄国際大学でお会いできるのを楽しみにしています。

ハンドルネーム:さゆ(将来は中学校の先生になって生徒と東京タワーをクリスマスツリーにしたい!)

本学からの応援コメント:「東京タワーをクリスマスツリー」とはおもしろい発想ですね。生徒のチャレンジ精神を喚起できる教員になって下さい。



夢を生きる力に。沖縄の力に。

DREAM DESIGN

キミの夢を投稿しよう!



★マークの人には沖国大からのコメントがついてるよ



13号館周辺等環境整備工事を行いました。

8月1日～9月25日にかけて「うりずん広場」、大学前バス停留所待合所及び学内東屋設置整備工事を行いました。うりずん広場にパーゴラ、学内数カ所に東屋を設置し、学生、教職員のふれあいの場として活用されています。長田方面バス停留所には屋根付き待合所を設置し、バス通学者に対し利便性の向上が図られています。本館から3号館、9号館から厚生会館にかけての渡り廊下は3月に設置しました。



長田方面バス停留所待合所



うりずん広場



厚生会館側東屋



サークル棟前東屋



5号館南側中庭東屋



5号館北側中庭東屋



本館、3号館側渡り廊下



9号館、厚生会館側渡り廊下

ゴメス・コンサルティング社「大学サイトランキング」で本学公式サイトが22位にランキング!

ゴメス・コンサルティング株式会社が8月4日に発表した「2009年7月大学サイトランキング」で、本学公式サイトが総合得点で22位にランキングされました。

この調査は、全国の国公私立大学が開設しているウェブサイトの中から「ウェブサイトの使いやすさ」や「情報の公開度・先進性」をゴメス・コンサルティング社のノミネート条件に該当するサイト248校を対象に行われました。

本学は特に「情報の公開度・先進性」の項目で高い評価をいただきました。

本学公式サイトは、日経BPコンサルティングの「全国大学サイト・ユーザビリティ調査」でも、2年連続総合スコアで第3位にランキングされており、今後も、使いやすさと、積極的な情報発信を心がけていきます。



総合得点上位50サイトに授与されたメダル

那覇空港に設置の本学看板をリニューアルしました。

7月23日、那覇空港に設置しています看板をリニューアルしました。新しい看板は、本学のスクールカラーをモチーフにデザインしており南・北側ゲートラウンジ内に設置しております。

県外・離島などへ出張・旅行の際には是非ご覧下さい。



平成21年度 学内定例講座実施報告

毎年、公開講座委員会主催で行っている学内定例講座。

今年度は「うまんちゅ法律講座」と題し、6月から10月まで全10回の講座を開催致しました。

一般の国民が裁判員として刑事裁判に参加する「裁判員制度」や、犯罪の被害者が刑事裁判に被害者参加人として参加する「被害者参加制度」がスタートするなど、国民の司法参加の枠が広がっています。他方、憲法改正、「派遣切り」、個人情報の保護、多重債務、あるいはM&Aなど、ここ数年、私たちの生活に関わる法的な問題も多く噴出しています。こうした事態に伴い、私たち日本国民が法的な知識や法的なものの方見方・考え方を、従来以上に身に付ける必要性もまた高まってきています。

そこで、今回は法学部の教員が中心となり、また那覇地方裁判所の現職の裁判官や県外の著名な研究者もお呼びし、学界で示された最新の研究成果などを踏まえながら、一般の方々に対して「分かりやすく、ためになる法律講座」を提供致しました。約450名の受講生の方に参加いただきました。

今回の講座内容は、書籍化され2010年4月に全国の書店で販売予定です。





2008年度 国外研究員報告

中国における農業農村政策の研究

産業情報学部 産業情報学科 教授 俞 炳強

2008年度の国外研究は中国農業科学院農業経済与発展研究所 (Chinese Academy of Agricultural Sciences, IAED: Institute of Agricultural Economics and Development) で行った。当研究所は、中国のシリコンバレーと呼ばれている北京市の中関村地域に立地し、農業省所管の研究機関であり、国内外農業経済の研究や中央政府の政策シンクタンクの役割をもち、同時に大学院修士・博士課程の教育も行っている。

中国経済は周知のように目覚ましく発展している。一方、経済発展の地域間格差、とりわけ農村と都市間格差の問題が深刻化している。そのため、いわゆる「三農」(農民、農業、農村)問題に如何に対処していくかが国家的な重要課題となっている。また中国はおよそ13億人の人口を抱え、食糧の生産量や消費量ともに世界の25%前後を占めており、今後、世界の食糧市場に与える影響はますます拡大していくことが予想できる。このような背景で、今回の国外研究においては中国における農業農村政策の現状と課題を中心に研究した。中国は2001年WTOへの加盟以降、農業農村政策は大きく転換しつつある。例えば、2004年に過去2600年間も続いた農業税が免除され、さらに食糧生産直接支払制度などが導入された。このような政策の効果や問題点については、福建省や内モンゴル自治区などに対する現地調査の結果をみると地域性が存在しており、今後、更なる体系的、実証的な研究が必要と考える。なお研究期間中、数回の現地実態調査や数多くの学術研究交流会に参加して実に多くの示唆が得られ、また最後には研究所主催の公開学術講演会でプレゼンテーションを行うことができた。研究の機会を与えて頂いた沖縄国際大学および研究先で大変お世話になったIAEDには衷心より感謝を申し上げる。



内蒙古自治区調査後の現地の方々



研修先の研究室メンバー(写真右から4人目が俞教授)

教育実習報告

沖縄県教員の資質向上連絡協議会の申し合わせにより、原則6月実習(主に高校実習)は、6月第2月曜日から2週間、9月実習(主に中学実習)は3学期制の場合①9月7日(月)～9月30日(水)、2学期制の場合②夏期休業明けの第1月曜日から15日間という日程で行われました。詳しい内訳は下記のとおりです。また、本学では実習前・中・後に教育実習に関するきめ細かい指導を行っております。

実習期間

- (6月実習)6月8日(月)～6月19日(金)(2週間)
- (9月実習)①9月7日(月)～9月30日(水)(15日間)
- ②夏期休業明けの第1月曜日から開始(15日間)

実習生数

- | | |
|--------------------|-------------|
| ①実習期間 | ③教科 |
| 5月実習生…………… 1名 | 国語…………… 44名 |
| 6月実習生……………66名 | 英語…………… 23名 |
| 8月実習生……………15名 | 社会…………… 23名 |
| 9月実習生……………52名 | 福祉…………… 3名 |
| 10月実習生…………… 2名 | 情報…………… 2名 |
| [合計136名] | 地歴…………… 24名 |
| ②実習校 | 公民…………… 14名 |
| 中学校実習生 …… 83名(57校) | 商業…………… 3名 |
| 高等学校実習生… 53名(30校) | |
| [合計136名(87校)] | |

事前指導

- 5月6日(日)第1回教育実習オリエンテーション
- 5月15日(金)第2回教育実習オリエンテーション
- 7月3日(金)第3回教育実習オリエンテーション

事中指導

- 2週間実習:第1週目の土曜日に教科教育法教員を交えて実習生による中間懇談会を行う。
- 3週間実習:第2週目の土曜日に教科教育法教員を交えて実習生による中間懇談会を行う。

事後指導

- 教科別反省会:教育実習終了後、教科教育法毎に教育実習の感想・反省点を報告する。

平成21年度 社会福祉援助技術現場実習及び精神保健福祉援助実習報告

人間福祉学科3・4年次を対象に、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格の取得要件である「社会福祉援助技術現場実習」及び「精神保健福祉援助実習」を下記の日程で行いました。

各実習は、福祉従事者として必要な専門知識及び援助技術、関連知識への理解、必要な資質と能力の向上、専門従事者としての倫理観、人格の形成などを目的とし、主に夏季休暇中に行なわれました。

実習生は、基本的に2ヶ所で実習を行い、それぞれの期間は約2週間です。社会人学生の実習生については、週1回程度の実習を数ヶ月かけて行う分散型実習となります。また、実習の前後には実習担当教員を中心にきめ細かい指導を行い、実習中も大学での中間報告会や実習担当教員が施設へ巡回し実習生へ指導を行っております。

<実習期間>

- 前期実習(集中型):8月1日(月)～8月31日(月)の期間で90時間程度
- 後期実習(集中型):9月1日(火)～9月30日(水)の期間で90時間程度
- 後期実習(分散型):9月1日(火)～12月4日(金)の期間で90時間程度

<実習施設数及び配属実習生数>

- 社会福祉援助技術現場実習(実習施設数83ヶ所・実人数98名・延べ193名)
- 児童相談所(6名)、婦人相談所(2名)、身体障害者福祉センター(3名)、福祉事務所(29名)、身体障害者更生相談所(3名)、母子福祉センター(1名)、社会福祉協議会

- (42名)、病院(7名)、救護施設(3名)、児童養護施設(15名)、児童自立支援施設(2名)、肢体不自由児施設(5名)、重症心身障害児施設(1名)、身体障害者療護施設(4名)、身体障害者授産施設(2名)、知的障害者更生施設(6名)、知的障害者授産施設(15名)、障害福祉サービス事業所(1名)、障害者支援施設(2名)、特別養護老人ホーム(32名)、介護老人保健施設(1名)、養護老人ホーム(8名)、婦人保護施設(3名)

精神保健福祉援助実習(実習施設数16ヶ所・実人数13名・延べ26名)

- 精神科病院(11名)、診療所(3名)、地域活動支援センター(5名)、生活訓練施設(1名)、地域生活支援センター(1名)、通所授産施設(3名)、入所授産施設(2名)

<実習指導>

事前指導

- オリエンテーションⅠ:平成20年11月4日(火)～11月7日(金)
- オリエンテーションⅡ:平成21年6月2日(火)～6月5日(金)
- オリエンテーションⅢ:平成21年7月7日(火)～7月10日(金)

実習中指導

- 中間報告会:平成21年8月15日(土)及び9月12日(土)
- 実習巡回:実習担当教員が全ての実習施設を巡回し指導にあたる。

事後指導

- 実習生はそれぞれの担当教員から事後指導を受ける。

障害学の最新の国際的動向を見聞きした1年 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 岩田直子

2008年4月から1年間、英国リーズにあるリーズ大学・障害学センター(Centre for Disability Studies)で研究をする機会を得ました。本センターは障害学研究の国際的拠点のひとつであり、世界中から研究者が集う魅力的な場所です。このような大学で様々な人々と出会い、研究ができたことは何よりの喜びでした。

私が研究した障害学は、障害者運動の当事者たちによって生み出されました。そして、障害者の解放(emancipation)を支える知識や実践を発達させることを重視しています。具体的には、障害者を排除する社会の分析をしたり、政策の根源的な変換を実現するための戦略の研究をしたりすることを通して、障害者の権利が保障されるインクルーシブな社会をつくることを目指しています。ですから、センターの教授陣は、常々、障害当事者の視点を見失った研究や図書館の隅に眠るだけの研究は意味がないとおっしゃっていました。また、学問の世界も障害者を排除してきたことをするどく追究していて、学術分野の抑圧や偏見を取り除くべく活発な議論が続き、刺激と気づきにあふれていました。

英国での1年間は、英国の市民社会の様子を知る機会にもなりました。シティセンターには途上国の人々や病気に苦しむ人々を支援する団体のショップが多数あり、メインストリートではマイノリティー差別をなくしていく活動や平和運動のキャンペーンが行われていて、市民が自発的に社会を変革していることがよくわかりました。障害者の運動もこのような多分野の市民活動と連携しながら進められていて、活動の幅広さを知る機会になりました。このような貴重な経験ができたことを心から感謝すると共に、今後の研究教育活動に活かしていきたいと思えます。



障害学センターの皆さん



平成21年度 後援会支部総会の開催

平成21年度の沖縄国際大学後援会支部総会が開催された。池田光男会長は、昨今の経済的状況が厳しいことに鑑み、後援会奨学金を今年度は昨年度の40名から50名に増員したこと、また、支部会員の親睦の向上を図ることを目的に、4支部交流会を東村セミナーハウスで7月25日(土)～26日(日)まで初の宿泊研修を実施することができ、お互い情報を交換しあいながら有意義な時間を過ごせたことを挨拶の中で述べられた。

富川盛武学長は、「大学は、学生中心主義でなければならない。学士力の向上、教育の質を高める丁寧な教育、就職支援の充実等卒業の土台を作る必要がある」と挨拶された。

今年度は4支部で喜久村進キャリア・カウンセラーが「早目に就職活動を一中小企業・県外就職にも目を向けよ」と、題して就職講演を行った。

県外就職の利点は、厳しい環境や競争社会で多くのことを学び、経験することで自己成長が早い。親の価値観を子供に押し付けない。しかし、放任主義はいけない、と講演した。

今年度の各支部役員改選の結果、八重山支部は安村悟朗氏、宮古支部は久貝喜一氏、久米島支部は上江洲勝志氏、北部支部は上間建美氏が支部長に選出された。

- ①八重山支部総会(10月10日(土)出席者30名(会員数84名)於:チサンリゾート石垣)
- ②宮古支部総会(10月11日(日)出席者40名(会員数130名)於:ホテル共和)
- ③北部支部総会(10月24日(土)出席者35名(会員数350名)於:オキナワマリOTTリゾート)
- ④久米島支部総会(10月31日(土)出席者35名(会員数44名)於:リゾートホテル久米アイランド)



宮古支部総会の様子



八重山支部総会の様子

平成21年度 事務職員夏期総合研修会開催

事務職員の資質向上を目的として、南城市において「平成21年度事務職員夏期総合研修会」が9月10日から11日までの2日間開催された。班別研修報告として、本学の教学、経営面の課題などについて発表が行われた。職員は真剣な表情で熱心に耳を傾けていた。



キャリア支援課 からの情報

2011(平成23)年の就職に向けて、3年次の就職活動が10月からスタートしました。キャリア支援課による「就職ガイダンス」も10月9日から始まっています。就職先を決めることは、卒業後の人生を左右する大切な選択です。早めに取り組むことが、希望の進路に就く近道となります。

3年次の皆さんが長く厳しい就職活動を乗り切り、希望する企業の内定を手にするために、キャリア支援課では様々な形で就職活動をサポートいたします。上手に利用して就職活動を有利に進めてください。

就職ガイダンスはじまる

3年次を対象とした就職ガイダンスが始まりました。ガイダンスでは、キャリアカウンセラーの喜久村進氏(リンク人材センター)を講師に招き、就職活動のノウハウを学ぶための連続講座(全7回)として以下のテーマにそって開講しました。

就活を成功させ、希望の仕事につくために、ガイダンスで学んだことを活かしてください。

〈就職ガイダンステーマ〉

- 第1回「大学生の就職市場を知る」
- 第2回「内定を取れる学生と取れない学生の差」
- 第3回「自己分析と企業研究は就活の基本(必須)です」
- 第4回「ビジネスマナーを身につける」
- 第5回「筆記試験突破と履歴書はどう書く」
- 第6回「面接ではどんな質問があるか、その対策は」
- 第7回「内定者(現4年次)から学ぶ、就活のノウハウ」

就職相談

就職活動を進めるにあたり、悩んだり戸惑ったりすることが多々あります。そんな時、一人で悩まずキャリア支援課の窓口へ相談に来てください。キャリア支援課を大いに活用して就職活動を乗り切りましょう。

1. キャリアカウンセラーによる就職相談

キャリアカウンセラーによる「就職なんでも相談」を行っています。ここでは、就職に対する意識と行動力を身につけることを主な目的としています。就職や進路に関することなら、学年を問わずどなたでもご利用できます。

将来の進路のことや具体的な就職活動の進め方、自己分析の仕方、履歴書やエントリーシートの書き方についての指導、模擬面接など、どんなことでも気軽に相談ください。

また、ワークショップ等も開催していますので奮ってご参加ください。

なお、相談は予約制となっていますので、希望される方はお申し込みください。

- 相談日:毎週火・金曜日 13:00~17:00
- 場 所:本館3階会議室
- 予約窓口:キャリア支援課にて随時受け付けています。

2. 沖縄県キャリアセンターによる就職相談

毎週1回沖縄県キャリアセンターの相談員による大学巡回相談を行っています。学年を問わず就職に関する相談を受けていますので、希望される方は以下のとおりご利用ください。

- 相談日:火曜日 11:00~16:30
- 場 所:本館3階会議室
- ※事前予約は必要ありません。直接会議室へ起こしてください。

3. キャリア支援課スタッフによる就職相談

キャリア支援課スタッフによる履歴書添削、模擬面接を行っています。どちらも予約が必要ですので、希望される方はお申し込みください。

- 〈模擬面接および履歴書添削〉
- 相談日:月曜日~金曜日の随時
- 場 所:キャリア支援課個別面談室
- 予約窓口:キャリア支援課にて随時受け付けています。
- 予約時に必要なもの:「履歴書添削」「模擬面接」を予約する場合は、受験する企業に提出する履歴書またはエントリーシートのコピー
- ※その他、就職に関する相談を学年を問わず随時受け付けています。

就職関係行事

以下の日程で就職ガイダンスや就職行事の開催を予定しています。学内会社説明会等も行われる予定ですので、詳細及び申し込み手続を掲示板等で確認し、キャリア支援課窓口で申し込んでください。

- ◆SPI模擬試験 11月4日
- ◆SPI試験対策ガイダンス 11月5日
- ◆就職内定者報告会 11月6日
- ◆SPI対策講座 11月9日~12月21日
- ◆OB・OGを招いての就職研究会 11月13日
- ◆県外就職フェア 12月7日
- ◆就職キックオフセミナー 12月12日

※上記以降も多数開催予定

〈その他の就職試験対策講座〉

就職試験対策講座については、例年以下の内容で予定しています。

詳細が決まり次第掲示板等でお知らせいたします。

- 教員採用試験対策講座
- 論文試験対策講座
- 面接試験対策
- 一般常識・時事問題対策講座
- 就職マナー講座

県外就職サポート

県内の8大学・短期大学が連携する沖縄県大学就職指導研究協議会(沖就研)は、株式会社ディスコが提供する「テレビ会議システム」を活用した大学生の新たな県外就職支援を開始しました。

テレビ会議システムを活用し、県外就職を希望する大学生と県外企業を繋ぐことで、「出会い」の場を提供し、大学生の県外就職を支援します。

また、キャリア支援課では県外で就職活動を行う学生を対象に、会社説明会及び採用試験時の旅費の一部を補助する制度もあります。

県外就職を希望する学生は、ぜひ活用してください。

企業インターンシップを実施

本学では、毎年夏期休暇中(8~9月)の約2~3週間の日程でインターンシップを実施しています。今年も県内の企業や公的機関、県庁及び各市町村役場など96企業(機関)で224名の学生が実習を行いました。

インターンシップでは、実際に企業で就業体験を行うことにより、職業意識を向上させる機会に繋がります。具体的業務を体験する中で、自分自身を見つめ直し、これからの社会生活でプラスになることを多く学ぶことができます。ぜひインターンシップ制度を利用して自分の可能性を見つけ、就職活動の参考としてください。



就職内定報告

法学部法律学科 4年次 久保田大貴(前原高校出身)

内定先:人事院沖縄事務所

私が公務員を目指そうと思いはじめたのは、大学2年次の冬でした。もともと、資格の勉強をしていて、その資格を取ったので、次の目標を定めるときに講座(学内)の先生から公務員の職種の幅の広さを聞かされ、すぐに目指しました。

大学2年次の残りの時間で、アルバイトをしながら約3ヶ月間は公務員試験の研究をしていました。自分がどのように勉強をするのか、また、どうすれば効率のいい学習ができるのか、ということ調べて、絶対に1年で合格することを目標に掲げ、3年次になるとアルバイトを辞め、すぐに自分の計画通りに勉強を始めました。私は自分で勉強する自信はあったのですが、情報収集のために予備校に通うことにしました。

午前中に授業を固めていたので朝は7時に起き、午前中は授業で、午後からは切り替えて1時から10時まで公務員勉強をして寝るという生活を繰り返しました。4年次になると授業がなかったため朝も公務員勉強に費やしました。また、学内で開かれる公務員セミナー等にも参加しました。

こうして、1次試験を無事終え、次は2次面接の対策をしました。民間企業を受ける友人が半年前にしていたこと(自己分析や官庁訪問)を2ヶ月でしなければいけなかったため正直きつかったです。しかし、絶対1年で受かるという目標があったので諦めませんでした。朝は7時に起き、官庁訪問をしました。それが終わると自己分析や面接練習をして、夜11時ごろに就寝という生活を送りました。

こうして無事2次面接と採用面接を終え、内定をいただくことができました。私は計画をきっちり立てて勉強を始めましたが、途中、まったく上手くいかないことだらけでした。でも、自分で自分を立て直し、修正を繰り返してきました。試験を終えて一番感じたことは、一度やると決めたことは最後まで諦めずにやるということです。決心した時の気持ちが強ければ、それだけ粘り強く頑張れます。

受講呼びかけメッセージ

キャリア支援課では、各種資格・検定試験の受験対策として有料講座を開設しています。今年度は、39講座を企画し、10月現在26講座に461名が受講しました。各種検定試験に710名が受験し、249名が難関を突破し合格しております。11月以降の開講予定講座は2月、3月の春休みをメインに12講座を予定しています。

各講座で学んだことは、社会に出ても必要とされるものばかりです。興味を持った講座・検定試験に挑戦してみませんか？

平成21年度 対策講座及び検定試験等実施状況

No.	対策講座名	試験日	講 座 申 込 者 合 計	検定試験等	
				受験者	合格者
1	日商簿記3級対策講座(6月検定向け)	6月14日	14	右表参照	
2	色彩検定2級(6月検定向け)対策講座	6月28日	31	右表参照	
3	国内旅行取扱業務取扱管理者講座	9月6日	26	26	※
4	福祉住環境コーディネーター2級対策講座	—	7	※	※
5	医療事務・医療事務コンピュータ講座(7月検定向け)	7月13日	24	24	24
6	行政書士対策講座	11月8日	18	18	※
7	宅建対策講座	10月18日	36	36	※
8	話しことば検定2・3級対策講座(6月検定)	7月5日	20	右表参照	
9	日商簿記2級対策講座(H21.11月検定向け)	11月15日	2	右表参照	
10	PC検定(文書作成)3級講座(8月検定)	8月19日	2	4	3
11	PC検定(データ活用)3級講座(8月検定)	8月19日	12	10	2
12	ITパスポート(10月試験向け)対策講座	10月18日	19	19	※
13	ファイリングデザイナー2・3級対策講座	8月8日	20	右表参照	
14	速読講座	—	8	—	—
15	福祉住環境コーディネーター2級対策講座	—	1	—	—
16	ホームヘルパー講座(8月)	—	7	—	—
17	介護事務講座(8月)	—	7	7	6
18	サービスケア専門士講座(8月)	—	5	5	5
19	3級FP(ファイナンシャル・プランニング)技能士受験対策講座	9月13日	22	22	※
20	秘書技能検定準1・2級対策講座	11月14日	32	32	※
21	日商簿記3級対策講座(11月検定向け)	11月15日	35	右表参照	
22	PC検定(文書作成)3級講座(12月検定)	12月25日	3	※	※
23	PC検定(データ活用)3級講座(12月検定)	12月25日	8	※	※
24	色彩検定2級(11月検定向け)対策講座	11月8日	14	14	※
25	医療事務講座(12月検定向け)	12月15日	11	11	※
26	話しことば検定2・3級対策講座	12月6日	10	10	※
27	公務員試験(H22.6月向け)対策講座	—	67	—	—
	■=開講講座 ※=未定	合計	461	238	35

11月以降開講予定講座紹介		ガイダンス	試験日
28	日商簿記2級対策講座(H21.2月検定向け)	10月16日	2月22日
29	社会保険労務士対策講座	11月6日	来年8月
30	日商簿記3級対策講座(H21.2月検定向け)	12月4日	2月22日
31	速読講座		—
32	PC検定(データ活用)3級講座(3月検定)	1月8日	3月7日
33	PC検定(文書作成)3級講座(3月検定)		
34	ホームヘルパー講座(2月)		—
35	介護事務(2月)		3月23日
36	サービスケア専門士(2月)	1月22日	3月18日
37	パーソナルカラー(新規)		—
38	カラーヒーリング講座(新規)		—
39	3級FP(ファイナンシャルプランナー)技能士受験対策講座		来年5月

検 定 試 験	試験日	申込者	合格者
PC検定(データ活用)3級(4月検定)	4月11日	14	7
FP(ファイナンシャル・プランニング)技能検定3級	5月24日	23	1
日商簿記検定3級6月検定	6月14日	98	23
日商簿記検定2級6月検定	6月14日	45	6
秘書検定3級	6月21日	10	8
秘書検定2級	6月21日	54	13
色彩検定3級	6月28日	10	7
色彩検定2級	6月28日	32	19
ビジネス能力検定2級(対策講座無)	7月5日	26	13
ビジネス能力検定3級(対策講座無)	7月5日	61	55
話しことば検定2級6月検定	7月5日	18	12
話しことば検定3級6月検定	7月5日	18	17
販売士検定3級(対策講座無)	7月11日	33	17
ファイリングデザイナー検定2級	8月8日	13	5
ファイリングデザイナー検定3級	8月8日	17	11
合計		710	249

日商簿記検定2級を合格して

産業情報学部企業システム学科 4年次 与那覇華代(八重山商工高校出身)

私が日本商工会議所主催の簿記検定に挑戦したのは、高校の頃から学んでいる簿記のレベルを上げようと思ったからです。この検定を取得する事により、税理士という夢に一步でも近づこうと考えていました。

日商簿記検定2級の受験で、1・2度目は検定2ヶ月前から過去問題集を使って勉強を始めたものの、たった1時間程度の勉強では、問題集を終える事もできず、理解不足のため合格する事ができませんでした。そのため、3度目は過去問題集を2度繰り返し、理解不足を補い合格する事ができました。

現在は、夢であった税理士事務所から内定をいただき、簿記に関する知識をより深めるため、1級に挑戦しようと考えています。独学ではありますが、毎日4~5時間テキストと問題集を使い勉強しています。

もし、何か検定を取得したいと考えている人がいるなら、諦めずに続けて勉強する事で、合格につなげる事ができます。

何事も、まずはチャレンジ!!



「日本語・文化研修」は、姉妹校からの研修生たちが本学で日本語と日本の文化を学ぶ約3週間のプログラムとなっており、今年度の研修生は、台湾の東海大学から12名、韓国の韓南大学から12名、オーストラリアのマッコーリー

大学から6名、計30名の学生が本学を訪れ研修を受けました。

約3週間の研修プログラムの中で、本学教員による「日本語集中講座」を受講する一方、本学の東村セミナーハウスに行き、東村小中学生との交流や、エコツーリズムを体験するなど、学外の人々とも積極的に交流する機会が数多く設けられました。

また、文化研修プログラムとして「書道」や「折り紙」、「浴衣の着付け」などの日本文化を体験し、本学学生らが主宰するエイサー団体「琉球風車」の演舞披露時には、研修生も大太鼓を持ち、カチャーシーを踊るなど沖縄の伝統文化に触れ、積極的に異文化交流を楽しんでいました。

更に、「台湾・韓国・オーストラリア展」と題し、各国のユニークなお菓子や珍味、文化や遊具の紹介を行い、本学学生や教職員との交流を深めていました。

研修最終日の修了式では、研修生一人ひとりに修了証書が手渡され、さよならパーティーでは、日本人学生と今後の更なる交流を誓い合う姿がみられました。

2009年度主な行事

4月	外国人留学生懇親会 海外語学・文化セミナー(豪州・台湾)帰国報告会
5月	国外協定校短期派遣留学(韓国・台湾・澳門)説明会
6月	国外協定校短期派遣留学(韓国・台湾・澳門)選考試験
7月	日本語・文化研修生(韓国・台湾・豪州)受入
8月	海外語学・文化セミナー生(韓国・米国)派遣
9月	国外協定校特別聴講学生(仏・澳門)受入
10月	海外語学・文化セミナー(韓国・米国)帰国報告会
11月	沖縄地域留学生交流推進協議会主催留学生懇親会
12月	国外協定校短期派遣留学(仏)説明会
1月	国外協定校短期派遣留学生(澳門)出発 お花見 国外協定校短期派遣留学(仏)選考試験
2月	国外協定校短期派遣留学生(韓国・台湾)出発 海外語学・文化セミナー(台湾・豪州)派遣
3月	国外協定校特別聴講学生(韓国・台湾)受入



外国語センター 英語合宿セミナー「100%純生英語」で英語力UP!



今年で9回目をむかえる夏休み恒例「英語合宿セミナー」(外国語センター主催)が9月19日から22日までの3泊4日、東村セミナーハウスで行われました。参加学生43人と7カ国から来たNative Speaker 8名を含む講師陣10人は、ハードかつ楽しい「100%純生英語」で“English Only(英語のみ)”の生活を送りました。

チームごと英語によるコミュニケーションを図るアクティビティ、屋外の希望する地を訪れ英語を使用するレクリエーションタイム、満点の星空の下で行われたバーベキューパーティー、そして最終日のグループ英語寸劇発表など盛り沢山の活動を通して、参加学生は英語で伝えようとする意志、感覚、そして何よりもそのスキルアップを培った英語漬けの4日間でした。

図書館情報

「米軍ヘリ墜落事件から5年『衝撃と惨状—写真・映像展—』開催

米軍ヘリが本学に墜落して5年。その当時の記憶を再現し、事件を風化させないための企画展として8月13日(木)から8月15日(土)までの3日間、午前10時から午後5時まで(最終日は午後6時まで)、図書館4階において写真展(多目的ホール)・映像展(AVホール)を開催しました。期間中354人の来場者があり、237人の方々にはアンケートにも回答していただきました。

来場者からは「基地の危険性を再確認した」、「事件当時の様子がリアルに伝わってきた」、「学生が中心になって開いたコンサートの映像は熱い思いを感じた」、「今後も継続して開催して欲しい」など多くの声が寄せられました。



高校生によるインターンシップ

7月6日、7日の2日間、中部商業高校2年生の4人の生徒が図書館でのインターンシップを行いました。午前8時半の開館準備から図書の入受・整理業務、貸出・返却・配架作業などの運用業務を職員の下、体験しました。体験後は「初めてのことで不安でしたが、沢山のことを学びました」、「本に囲まれて仕事ができうれしかったです」などの感想を語ってくれました。



【施設設備】

米軍ヘリ墜落事件関連資料室(2階)の設置

2階グループ学習室との併用で利用者にとって不便だった資料室を、旧2階カウンター跡に新たに設置しました。現在資料室内のレイアウトなど、より効果的な運用に向けて準備を進めています。今後も平和学習の場として資料の充実に努めます。

電動書架(地下2階)の増設

書架の狭隘化に伴い、地下2階に電動書架を増設しました。この増設で約6万冊の図書を新たに配架することができます。新しい書架の稼働は平成22年4月を予定しています。

入退館ゲート(1階)のリプレイス

機器の耐用年数超過により1階入退館ゲートをリプレイスしました。このリプレイスにより入館時の学生証等のバーコード読み取りや、退館時のブックディテクションシステム(無断持出防止装置)の感知が改善され、スムーズなゲートの通過が可能になりました。

南島文化研究所

5月18日(月)・・・第161回シマ研究会
 「封印された列車爆発事故—沖縄鉄道の歴史と悲劇—」
 講師:桃坂 豊氏(福岡県文化財保護指導委員)

7月13日(月)・・・第162回シマ研究会
 「美術家たちの南洋群島展を終えて」
 講師:豊見山 愛氏(沖縄県立博物館・美術館主任学芸員)

各地調査
 久米島総合調査・・・
 8月28日(金)
 ～8月31日(月)

韓国総合調査・・・
 9月16日(水)
 ～9月21日(月)



第162回シマ研究会

産業総合研究所

5月29日(金)・・・第1回研究会
 「ジャスコ化する身体と農村のギャル彩—経済学で説明が難しい一つのサブカルチャー現象—」
 講師:長谷部 正氏(東北大学大学院農学研究科教授)

8月28日(金)・・・第2回研究会
 「産業の情報化～生活目線のネットワーク社会～」
 講師:松田 友義氏(千葉大学大学院教授)

9月17日(木)・・・2009年度産学官地域連携モデル事業(沖縄フードビジネス会共催)
 「地域ブランドでホントに物が売れるの? Part3—地域ブランドとは言うけれど—」
 討論者:仙頭武則氏(映画プロデューサー)ほか
 2009年度第1回学生ベンチャー起業家育成支援セミナー(実務演習コース)
 10月16日(金)～11月8日(日)
 平成21年度農商工連携人材等育成事業
 事業名称:「たれいだれい」de農商工連携基盤形成事業
 8月28日～2010年2月 毎週金曜日
 内容:座学研修・実地研修・フォローアップ研修を通し、高付加価値商品の開発と市場展開を試みる

沖縄法政研究所

5月29日(金)・・・沖縄法政研究所第30回研究会
 「制約されるアメリカ大統領—ニクソンの福祉改革をめぐる—」
 報告者:向井 洋子氏(筑波大学大学院生・沖縄法政研究所特別研究員)

6月17日(水)・・・沖縄法政研究所第20回講演会
 「沖縄国際大学の学生に期待する～自立の時代の教育を考える～」
 講師:川上 辰雄氏(北中城村教育長)

7月7日(火)・・・沖縄法政研究所第21回講演会
 「アメリカの陪審員制度に学ぶ—裁判員制度開始にあたって—」
 講師:サブリーナ S. マッケンナ氏(ハワイ州第1巡回裁判所判事・元ハワイ大学准教授)

7月14日(火)・・・沖縄法政研究所第22回講演会
 「ボランティアコーディネーションの現状～刈谷市ボランティア活動支援センターの取り組みから～」
 講師:田中 利昌氏(NPO愛知ネット職員)



第21回講演会

沖縄経済環境研究所

6月20日(土)・・・第1回ソーシャルビジネス研究会
 「読谷村における会社起こし・事業起こし・むらおこしについて—事例紹介—」
 講師:西平朝吉氏(読谷村商工会事務局長)

6月24日(水)・・・第1回講演会
 「沖縄県での働き方～高失業と就業行動～」
 講師:森川善樹氏(沖縄労働局長)

7月30日(木)・・・第1回研究会
 「企業経営と雇用」
 講師:古波津昇氏(拓南製鐵株式会社代表取締役社長)

8月4日(火)・・・第2回講演会
 「ケインズは不況を説明したのか」
 講師:小野善康氏(大阪大学社会経済研究所所長)

8月5日(水)・・・第2回研究会
 「2010年上海万博とその都市建設への影響」
 講師:呉寄南氏(上海国際問題研究院学術委員会副主任)

8月12日(水)・・・第3回講演会
 「沖縄の都市特性とは何か—沖縄らしさの都市像を求めて—」
 講師:堂前亮平氏(久留米大学文学部情報社会学科教授)

9月28日(月)・・・第3回研究会
 「雇用の安定を基盤とした安心できる勤労者生活のために～労働経済白書を通じて～」
 講師:野口智明氏(沖縄労働局労働基準部長)



第3回講演会

産業総合研究所

「たれいだれい」de農商工連携基盤形成事業

この度、産業総合研究所では「『たれいだれい』de農商工連携基盤形成事業」が平成21年度農商工連携人材育成事業(主催:全国商工会連合会)に採択され、研修会や実地研修会を開催することになりました。

各分野の専門家を招聘し、商品企画の視座、品質向上・管理、販売戦略、その他について、県内・県外を合わせた全国的な視点から事例紹介などをしていただき、受講者が持っている経験や知見を活かし、効果的な協力が行えるためのお手伝いをさせていただきます。これまでに「品質保証手段のための認証制度」(講師:仲宗根博文氏)、「ものづくりの背景思想」(講師:高田勝氏)等をテーマに研修会が行われ、実地研修会を含めた研修会が2010年2月まで続きます。

生産・加工・流通・販売のそれぞれの業種において、個別に取り組みされている改革や改善のための努力や意志を結集し、農商工の連携の元に、高付加価値商品の開発と市場展開を試みる事が最終目的となっています。



「たれいだれい」de農商工連携基盤形成事業

平成21年度 特待奨学生30名に証書交付

10月2日、各学部教授会において、平成21年度の特待奨学生証書交付式を行いました。

本学特待奨学生は「学業・人物ともに優秀で、他の模範となる学生」という基準で選考され、今回、交付対象となった30名(法学部6名、経済学部6名、産業情報学部6名、総合文化学部12名)には、授業料・施設設備資金に相当する額の奨学金810,000円が給付されます。

今回の対象者の中には3年連続や2年連続で選出された学生もおおり交付式では各学部長から、その優秀な成績と真面目な勤勉ぶりに対する賛辞が述べられました。

3年連続で選ばれた経済学部経済学科4年次佐藤正人君(名護高校出身)は「特待奨学生に選ばれたことを誇りに思います。これも先生方からのご鞭撻のお陰だと思います。ありがとうございます。」と感謝の言葉を述べました。



3年連続特待奨学生に選ばれた経済学部経済学科 佐藤正人君



産業情報学部



法学部



経済学部



総合文化学部

大学弁当リーグ

ベジフルーツチキン発売しました。

今年で3回目の沖縄ファミリーマート主催「学P沖縄リーグ2009」が7月31日から11月20日まで開催されました。今年のテーマは「美と健康」。県内6大学がインターンシップ形式で商品開発からCM撮影までファミリーマートスタッフの指導を受けながら行いました。商品は10月23日から11月9日までの期間限定で販売され、沖縄国際大学チームは「ベジフルーツチキン」(価格420円)を販売し、約16,500食を売り上げました。



CM撮影の様子

学生インタビュー

本学の教育理念・方針のアピールを目的として昨年10月より放送しています、ラジオ番組「沖国Together」(FM76.8MHz)(毎週水曜午後7時から午後8時)に学生スタッフとして関わっている経済学部経済学科3年次 恩河龍馬君(那覇高校出身)にラジオの魅力などについて聞きました。



番組に関わるきっかけは？

沖国大でラジオ放送が行われている事を気付かずにごまかしていましたが、元々ラジオに興味を持っていました。ある日ゲスト募集の情報が入り、ゲストとしてではなく、スタッフとして参加したいという今までにない熱い気持ちになりました。大学で消沈していた私にはとてつもない起爆剤になりました。

学生スタッフとして関わって約1年になりますがいかがですか？

ラジオは本番だけではなく、収録前の打ち合わせ終わった後の会議、ゲスト調整、CM作成など一つ一つの積み重ねから成り立っている事に気付きました。今年の4月からリーダーにも選ばれ、よりしっかりしなければという気持ちになりました。現在は「沖国Together」を広くPRして聴いて頂く為の努力の日々です。学生スタッフの成長力が相乗効果で聴いている高校生や沖国大生に良い影響が出るかと嬉しいです。

毎回生放送ですが苦労した点などはありますか？

生放送は失敗してはいけないという重量級のプレッシャーに襲われる事がありますが、学生なりのゆる〜いスタンスで番組を盛り上げています。時に選曲ミスや無音状態などがありますが、本番中に修正するよう最善の努力をしています。一番苦労するのは楽しくワイワイやれば良いというわけではなく、沖国大の魅力を最大限PRするため、メリハリをつける点で苦労もしていますが工夫もしています。常にいいものを発信する事は当たり前ですが難しいですね。

今後の目標

沖国大を目指す高校生はもちろんの事、沖国大生、卒業生の方、多くの方々に聞いて欲しいですね。高いハードルではありますが、常に高い目標を掲げることで自分やメンバーの成長に繋がっています。「沖国Together」を聴いて入学したという話が聞けると嬉しいです。これからもMCの先生や職員の方、皆さん、学生スタッフのメンバーと今しか出来ない最高の番組にしていきたいです。

放送内容は、下記本学ホームページからご覧いただけます。

<http://www.okiu.ac.jp/gaiyou/radio/index.html>



ラジオ運営学生スタッフの皆さん

学生インタビュー

第3回世界珠算暗算競技大会で日本代表の経済学部経済学科2年次 石川和枝さん(那覇高校出身)が2位



8月16日、中国天津市で開催された第3回世界珠算暗算競技大会に日本代表として出場した、経済学部経済学科2年次石川和枝さんが国別で2位、団体3位という好成績を収めました。また、栃木県で開催された、2009年度全日本珠算選手権大会フラッシュ暗算部門でも、3年連続4回目の優勝という快挙を成し遂げています。5歳頃から珠算を始め、小学校で10段を取得されたそうです。石川さんは「今後とも次回大会に向けて日々頑張っていきたいです。将来は、公認会計士や税理士を目指したいです」と感想を語って頂きました。フラッシュ暗算が得意な事については「暗算競技が得意なので、暗算力が活かされているのではないのでしょうか」と語っていました。



富川盛武学長表敬訪問の様子

学生インタビュー

10月3日、嘉手納町で開催された野國總管まつりにおいて、第一回野國いも料理コンテストで産業情報学部産業情報学科4年次 福地貴志君(読谷高校出身)が最優秀賞に輝きました。



応募のきっかけは？

今年の1月、2月に嘉手納町のイベントでプリン販売を行なったところ好評で、地元の商工会の方から薦めがあり応募しました。

物作りは好きと聞きましたが？

小さい頃から父親の影響で物作りに関わり、地域のイベントにも参加していました。

現在の活動状況は？

沖縄国際大学産業総合研究所で行われている、平成21年度農商工連携人材等育成事業にも参加して起業家育成について勉強しています。



福地君の作品「野國芋プリン」

今後の目標

卒業後はさらに物づくりのレベルアップをして、多くの方に野國いもを広めていきたいと考えています。

学生インタビュー

平成21年度全日本学生ハンドボール選手権大会に出場した産業情報学部企業システム学科4年次 永田志織さん(浦添高校出身)にインタビューしました。



ハンドボールをするきっかけは？

小学校の頃までは、ハンドボール部に所属していなかったのですが、いとこが入部した事をきっかけに興味を持ちはじめました。

現在の活動状況は？

週3回の練習(月・水・金の5時限目)を基本として、土・日は高校生や、一般のチームなどと練習試合を組んでいます。沖国大女子ハンドボール部は他の部活に負けないチームワークがあります。練習も試合も楽しんでやることをモットーに全員が笑顔になれるそんな部活です。

キャプテンとしてチームの中心選手ですがやりがいは？

正直大変な事の方が多く、チーム全員の気持ちを一つにすることやモチベーションを高めるための練習などいろいろ工夫をしています。キャプテンとして一番うれしいことは、自分自身がプレーの面でも気持ちの面でも手本となることができたときはもちろんですが、全員が笑顔で楽しそうにプレーしている所を見るととても嬉しいです。そして、自分がやってきたことは間違いではなかったのだと、とてもやりがいを感じ、もっと頑張ろうという気持ちになります。

主な大会成績

九州学生ハンドボールリーグ春季大会：3位

西日本インカレ出場

九州学生ハンドボールリーグ秋季大会：3位

全日本インカレ出場

今後の目標

全日本インカレに向けて、チーム一丸となり初戦突破を目指して日々練習に励んでいます。私自身、大学生活での最後の大きな大会ということもあり、悔いを残すことなく、思い切り楽しめるように後輩の力も借りて一生懸命頑張ります。



女子ハンドボール部の皆さん

第38回 沖縄大祭統一テーマ「全てを出し切」

11月28日、29日の二日間、第38回沖縄大祭が開催されました。「全てを出し切る自信はあるか？俺たちの祭(プライド)」をテーマに、132団体が参加しました。毎年学生の様々な取り組みが楽しい沖縄大祭ですが、今回は「大学祭盛り上げ会」を立ちあげ、実行委員会と共同で準備から当日までの運営全般に関わり盛り上げていただきました。

今年は各建物にエコ係を配置し学生自らゴミ分別に取り組み、ゴミを出さないエコ大学祭として来場者に呼びかけを行いました。

Hula Girls(屋内発表)



私たちのダンスは、フラダンスとタヒチアンダンスのコラボレーションで行いました。フラダンスの良さをより多くの人に知ってもらえたと思います。

バルーンアートサークル(屋内展示)



私たちバルーンアートサークルは、風船を使って、動物を作ったり、ハートの杖やブレスレットを制作し来場者の皆さまにプレゼントしました。

ペーパークラフトサークル(屋内展示)



私たちは、展示会を年に数回開いています。沖縄大祭は、ペーパークラフトサークルの一年の集大成といえるイベントであり、部員一同気合いを入れて頑張りました。

美術クラブ(屋内展示)



私達美術クラブは、毎年行っている個人展示に加え、今年は新たな試みとしてグループ展示も行い日頃の成果を発表しました。



ニューミュージック(屋内発表)



部員手作りのライブハウスで、ジャンルを問わず最高のライブをお見せすることが出来ました。

アースフロッグス(屋内展示)



環境問題やエコは難儀でまじめなイメージがつきがちですが、マイ箸作りや体験型授業等を取り入れて、身近に楽しくエコが出来ることを心がけました。

考古学研究会(屋内展示)



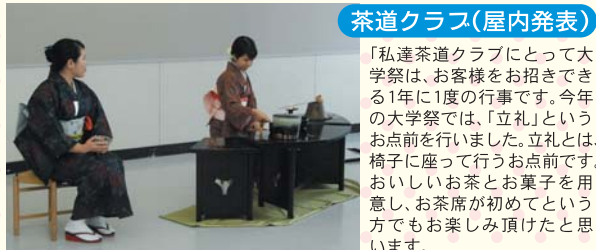
私たちは、土器制作(砂採りから焼き上げるまでの工程)や遺跡紹介(遺跡巡りを確認した遺跡)などを行いました。

聖歌BAND(屋内発表)



私たちは「音」を「楽しむ」のをコンセプトとして行いました。ピアノやギターが弾けなくても、ドラムが叩けなくても、音楽は奏でられます。私達は「声」を楽器にして、ゴスペル、ディズニー、JPOPなどを演奏しました。

茶道クラブ(屋内発表)



「私達茶道クラブにとって大学祭は、お客様をお招きできる1年に1度の行事です。今年の大学祭では、「立礼」というお点前を行いました。立礼とは、椅子に座って行うお点前です。おいしいお茶とお菓子を用意し、お茶席が初めてという方でもお楽しみ頂けたと思います。

東洋思想研究会(屋内展示)



「平和」について様々な視点から考え、それをパネル展示し、私達若者、沖縄県民全体に平和についてあらためて考えるきっかけとなってくれることを趣旨として行いました。

文芸部(屋内展示)



「文芸部では、詩や小説、イラスト等ジャンルを問わず様々な作品の展示を行いました。年に一度の集大成として発行する「沖縄大文学」の販売や月一度発行している「偽パンダつうしん」のバックナンバーの無料配布も行いました。

カタヤビラ(屋内展示)



吹奏楽部(ステージ)



I Love 沖縄(ステージ)

このダンスをきっかけに何かフワフワしたのがガッチリ出来たら嬉しいです。見てくれる人も、I Love 沖縄になっていただけたと思います。

自信はあるか？俺たちの祭(プライド)」

琉球風車(ステージ)



鼓舞楽団浦風(ステージ)



達人我磨(アトガマー)(ステージ)



中東芸能クラス(ステージ)



私達中東芸能クラブは、中東の舞踊、ペリードダンスを学んでいます。大学祭では、少しでも中東の雰囲気を感じ、中東に興味を持ってもらえるように、中庭ステージでは大人数で踊るグループダンスを、教室講演では、ソロやペアなどの少人数でペリードダンスを披露しました。

「学生らしさ、元気、笑顔」がモットーの浦風です。県内各地で様々なイベントに出演していますが、この「沖国大祭」は沖国大生にとっても、浦風にとっても特別大きなイベントとして頑張りました。

4年次による「ソーラン節」、「よっちゃれ」を演舞しました。どっこいしょー!!ってな感じで、和気あいあい、8月から練習に取り組んで来ました。50名超での迫力あるソーラン節を楽しんでいただけたと思います。



中部連合(おばけ屋敷)

いろんなオバケやゾンダラーで来場者の方に楽しんでいただきました。

留学生学友会(模擬店)



二輪組(模擬店)



民俗そば(模擬店)

民俗ゼミ2年次伝統の模擬店を今年は八重山そばで開店しました。本場石垣島直送のそばを販売しました。

スポーツ同好会(模擬店)



LEMONS(模擬店)



おいしいスーパーたこ焼きと、ヤバイびっくりなアイス天ぷらを販売しました。

MASAI(模擬店)

「おいしいやきとりはもちろん、パフォーマンスやお笑いも披露し来場者の皆さんに喜んでいただけたと思います。

企業システムA(模擬店)



エアガン、ぬいぐるみ、MP3プレイヤーなどの豪華な景品を用意し、友達同士の方や家族連れなど皆さんに遊びを楽しんでもらえたと思います。

鬼野津々☆藍(模擬店)



「HOTになりたい人はCOME ON!」というメッセージを来場者の皆さんにPRしながら頑張りました。

企業システムB(模擬店)

とても美味なるポップコーン(豆)を販売しました。あなたに胸キュン!!壮大なスケールから伝える至極の世界を楽しんでいただけたと思います。



みんなで盛り上がったカチャーシー(フィナーレ)



ラズベリー(模擬店)



ブルーシールアイスクリームを販売しました。

思い出のアルバム(フィナーレ)



平成21年度 研究費交付決定額一覧

◆特別研究費◆

No.	研究種目	所 属	職 名	交付決定者	研究テーマ	交付決定額
1	特定C	法 学 部	教 授	田中 稔	損害賠償額の算定期間に関する比較法的考察	435,000
2	特定C	法 学 部	教 授	大山 盛義	小規模自営業者に対する労働法的保護の可能性の検討	435,000
3	特定C	経 済 学 部	教 授	呉 錫 畢	トラベルコスト法によるイノー(コモンズ)の経済評価と環境保全による実証的研究	435,000
4	特定C	経 済 学 部	教 授	村上 了太	企業の社会的責任に関わる公企業民営化と私企業国有化の国際比較研究	435,000
5	特定C	経 済 学 部	准教授	新垣 武	浅海域に堆積した赤土砂の除去方法に関する研究	435,000
6	特定C	産業情報学部	教 授	宮森 正樹	特産品、観光開発を活用した地域発展のためのまちおこしー沖縄方式を海外に適用する	1,306,000
7	特定C	総合文化学部	教 授	上田 幸彦	高次脳機能障害者の地域生活に対する援助法の研究	435,000
8	特定C	総合文化学部	准教授	安次富郁哉	認知症高齢者介護ストレス緩和システムの構築	435,000
9	奨 励	法 学 部	教 授	井村 真己	アメリカ公正労働基準法(FLSA)の歴史的展開に関する研究	853,000
10	奨 励	法 学 部	准教授	上江洲純子	倒産手続における手続機関の責任に関する実証的・理論的考察	740,000
11	奨 励	法 学 部	講 師	坂本 達也	欧米諸国および日本における結合企業法制とコーポレートガバナンス	871,000
12	奨 励	経 済 学 部	准教授	井本 伸	少子高齢社会における人口移動に関する実証分析ー沖縄県への移住を中心として	409,000
13	奨 励	経 済 学 部	准教授	松崎 大介	貨幣経済における課税政策と退職を通じた労働供給の経済成長への影響	871,000
14	奨 励	経 済 学 部	講 師	山川彩子(矢敷)	地域絶滅した沖縄本島産ハマグリ類に関する環境考古学的研究	871,000
15	奨 励	産業情報学部	准教授	仲地 健	島嶼地域における観光資源の保全費用負担のあり方に関する研究	871,000
16	奨 励	産業情報学部	准教授	池宮城尚也	データの不完全性を考慮した金融政策ルールの実証分析	871,000
17	奨 励	総合文化学部	准教授	柴崎礼士郎	目的語および付加詞の情報連鎖機能と談話の展開ー歴史英語から見る言語進化ー	871,000
18	その他	法 学 部	教 授	武田 一博	「脳の外部記号としての言語」に関する哲学的研究	343,000
19	その他	法 学 部	教 授	熊谷 久世	外国親子裁判とわが国の公序について	343,000
20	その他	法 学 部	教 授	中野 正剛	未遂犯論研究	343,000
21	その他	法 学 部	教 授	芝田 秀幹	バーナード・ボザンクと多元的国家論および新自由主義	343,000
22	その他	法 学 部	講 師	船越 優子	信義誠実の原則に関する比較法学的研究	343,000
23	その他	法 学 部	講 師	大城 明子	大学共通英語教育における自律的学習の可能性について	299,000
24	その他	産業情報学部	教 授	伊礼 武志	「企業情報開示の理論的研究」	304,000
25	その他	産業情報学部	教 授	大城 建夫	国際化、情報化の影響による会計及び税務問題	226,000
26	その他	産業情報学部	教 授	清村 英之	高等学校における商業教育に関する一考察	293,000
27	その他	産業情報学部	教 授	鶴池 幸雄	会計基準の国際化による我が国の会計情報の変容と課題	343,000
28	その他	産業情報学部	教 授	原田 優也	プライベート・ブランド(PB)商品の消費にみる消費者心理の変容	343,000
29	その他	産業情報学部	教 授	大井 肇	IT効果測定手法に関する一考察	341,000
30	その他	産業情報学部	講 師	木下 和久	地域最適化とコストマネジメント行動に関する実証研究	343,000
31	その他	産業情報学部	講 師	河田 賢一	本部と加盟店におけるロイヤリティシステムがコンビニエンスストア業態におよぼす影響	313,000
32	その他	総合文化学部	教 授	葛綿 正一	馬琴の文学史的研究(2年次)	288,000
33	その他	総合文化学部	教 授	江上 幹幸	宮古島における先史時代の人々のくらし	343,000
34	その他	総合文化学部	准教授	藤波 潔	イギリス極東外交政策とアヘン	251,000

★科学研究費補助金★

No.	研究種目	所 属	職 名	交付決定者	研究テーマ	交付決定額
1	基盤B	総合文化学部	教 授	高橋 俊三	琉球八重山方言の言語地理学的な研究	900,000
2	基盤B	総合文化学部	教 授	石原 昌家	沖縄県伊江島の資料に基づく戦後沖縄の平和運動史に関する実証的研究	1,900,000
3	基盤C	経 済 学 部	教 授	宮城 和宏	東アジア経済の技術特化、技術集中度とイノベーション・システムに関する比較研究	200,000
4	基盤C	総合文化学部	教 授	狩俣 恵一	沖縄県宮古島地方の祭祀劣化映像資料のデジタル化と文化政策的活用方法の研究	900,000
5	基盤C	総合文化学部	教 授	江上 幹幸	東部インドネシアに残る巨石記念物の民俗学的調査研究	900,000
6	基盤C	総合文化学部	教 授	仲地 健	超長寿者に関する日常生活動作と既往歴の関連性についてーハワイ・全米・沖縄の比較ー	1,200,000
7	若手B	法 学 部	准教授	吉次 公介	「コラボレーター」としての沖縄保守勢力ーアメリカのヘゲモニー支配と沖縄	800,000
8	若手B	産業情報学部	教 授	原田 優也	アジア中間層における日本製文化コンテンツの不正利用行動に関する理論的実証的研究	1,200,000
9	若手B	産業情報学部	講 師	木下 和久	日本企業のコストマネジメントの変化	600,000
10	若手B	産業情報学部	准教授	李 炫 姪	「雁(かり)パパ」から見る韓国の教育政策の現状と今後のあり方	800,000
11	若手B	総合文化学部	准教授	澤田 佳世	現代沖縄の出生力と国際結婚の諸相ー多良間村にみる家族と移住女性の再生産戦略ー	1,400,000
12	若手スタートアップ	総合文化学部	教 授	李イニッド	外国語非言語伝達の習得と運用についてー英語・日本語・中国語学習者を中心にー	1,180,000

★公益信託宇流麻学術研究助成基金★

No.	研究種目	所 属	職 名	交付決定者	研究テーマ	交付決定額
1	人文・社会科学	総合文化学部	准教授	比嘉 昌哉	スクールソーシャルワーカーの配置形態～各形態の有効性と課題～	450,000

平成20年度 事業報告(個別業務計画各事業の抜粋)の開示

私立学校法第47条第2項に基づき、平成20年度の本学事業内容を開示いたします。本学は今後も「地域の私立大学として」、建学の理念・目的、教育目標を前提に、自主的・主体的に教育水準の改善向上を図り、健全な経営に向けて継続的に取り組んで参ります。(紙面の都合から抜粋といたしました。全文は、本学Webページで公開しておりますので、そちらもご覧いただければ幸いです。)

1. 教育・研究関係

(1) 教務

16単位未満学生の指導にあたり、アカデミックアドバイザーによる指導を徹底したが、依然として所定の単位を満たせず除籍となる学生や中途退学者がおり、指導の更なる徹底と学習意欲高揚を誘引するシステムの検討を迫られている。

法学部では、平成21年度から供用を開始する模擬法廷における模擬裁判(刑事訴訟法専門演習)の計画をスタートさせた。

(2) 学生募集に関する事業

平成21年度入試志願者の激減に伴い、平成22年度入試に向けて志願者及び入学者の獲得に向けた緊急対策を実施するため、緊急入試対策会議を設置した。

学内事務組織改革に伴い、平成21年度から入試課の機能強化を図る目的で入試センターを設置し、大学院入試についても入試センターで実施することとなった。

(3) 国際化に関する事業

文園善郎氏の寄付金により、「文園善郎フランス留学支援奨学金」と「文園善郎短期語学研修奨学金」の2つの奨学金制度を設立した。

私費留学を余儀なくされる学生のため、認定留学制度を導入し、併せて認定留学奨学金を制度化した。

また、認定留学制度を更に充実させることを目的としてスタディー・アプロード・ファウンデーション(SAF)と業務提携に関する協定を締結した。

これらにより、本学学生の留学支援について更なる強化が実現した。

2. 学生関係

(1) 奨学金の拡充

入学年度に家族が在籍する学生を対象とした兄弟姉妹等支援奨学金を設立。平成20年度は105名の該当者に入学金相当が給付された。

平成20年度末には、不況への緊急対策として、在学生対象の「被災学生奨学金」の範囲を拡大、受付期日も可能な限り延長して採用に努め、2名の採用があった。

(2) 渡り廊下の設置

本館から3号館、9号館から厚生会館までの渡り廊下を設置し、雨天時などの校舎間の移動をスムーズに行えるようにした。

(3) バリアフリー対策計画の推進

3号館南側出入口・9号館南側出入口へのスロープ設置、9号館中庭の段差解消工事を実施し、身体障がい学生等も通行しやすい形状にした。

(4) 就職活動の支援

夏期休業期間中にインターンシップを実施し、県や市町村、国などの25の機関と59社の企業で、212名の学生が実習を行った。

学内合同企業説明会を4回実施し、学生の参加も延べ500名余と盛況だった。説明会に出席したのを機に、参加企業から内定をもらった学生も多かった。

3. 情報化関係

(1) 図書館関連事業

1階ブラウジングコーナー横に8台の新聞架を設置し、これまで地下に配架していた発行後1～2年の郷土新聞を移動して利便性に努めた。

旧図書館システムの契約更改に伴い、新システムでは利用者サービスの拡充を図ることを目的に、OPAC機能の改善や「携帯電話OPAC」「My Library(Webサービス機能)」などの新たな機能を導入し、平成21年4月1日から稼働する。

(2) 情報センター関連事業

13号館建築に伴い、学内LAN拡張工事を行った。これによって、より高速で使い勝手のいい安全なネットワーク環境を整備、提供することが出来た。

パーティションによって仕切ることの出来るPC教室を13号館に設置することにより、多くの学生に、利便性の高いパソコン利用環境を提供することが出来た。

4. 管理運営・施設設備関係

(1) 業務運営

学内委員6人・学外委員2人の計8人による経営対策委員会を発足し、「(学生)募集定員」「募集定員を下回る学科の改革・改善の検討着手時期及び所要期間等」「教育・研究環境の維持、充実のための支出予算編成方式並びに内容」について検討し、その結果を理事長に提案した。

(2) 情報公開、管理

情報提供シート様式を作成し、教職員からの情報収集を行ったおかげで、情報の集約について改善がみられた。

年2回学報を発行し、学生、保護者、教職員向けに情報提供を行った。また、ウェブサイトとの連携を深め、ニューストピックスに掲載した情報を学報にも掲載することで情報収集の効率化を図った。

大学案内にマスコットキャラクターを導入し、受験生へより身近な要素を取り入れた。

ウェブサイトについては、ニューストピックスやイベント情報についての更新を頻繁に行うことにより、充実度を高めた。

(3) 施設設備

第6駐車場の傷みの激しい部分にアスファルト敷設工事を実施した。

窓口でのトラブル等に対応するため、図書館1階・3階カウンターに防犯ベル、会計課、教務課のカウンターに防犯ベル・防犯カメラを設置した。

本館前の小公園内に米軍ヘリコプター墜落事故のモニュメントを設置した。

【貸借対照表】

貸借対照表は、当該会計年度決算時点における財政状態を明らかにしたものです。

貸借対照表(平成21年3月31日現在)

【資産の部】

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	15,939,100,052	14,877,629,721	1,061,470,331
有形固定資産	11,057,306,729	10,253,616,947	803,689,782
土地	1,622,988,150	1,622,988,150	0
建物	6,457,715,741	5,755,917,627	701,798,114
構築物	418,138,934	434,410,863	△ 16,271,929
教育研究用機器備品	296,796,272	248,581,099	48,215,173
その他の機器備品	30,116,057	26,946,327	3,169,730
図書	2,227,426,584	2,130,361,423	97,065,161
車輛	4,124,991	4,671,458	△ 546,467
建設仮勘定	0	29,740,000	△ 29,740,000
その他の固定資産	4,881,793,323	4,624,012,774	257,780,549
電話加入権	2,550,798	2,550,798	0
有価証券	389,989,958	389,989,958	0
長期貸付金	360,000	720,000	△ 360,000
退職給与引当特定預金(資産)	813,000,000	713,000,000	100,000,000
校舎建築引当特定預金(資産)	850,139,567	1,150,000,000	△ 299,860,433
減価償却引当特定預金(資産)	1,717,373,789	1,306,121,789	411,252,000
金秀奨学金引当特定預金(資産)	300,000	400,000	△ 100,000
平敷奨学金引当特定預金(資産)	300,000	400,000	△ 100,000
久高奨学金引当特定預金(資産)	400,000	500,000	△ 100,000
上原奨学金引当特定預金(資産)	200,000	400,000	△ 200,000
長濱奨学金引当特定預金(資産)	6,480,000	6,780,000	△ 300,000
波平博士課程奨学金引当特定預金(資産)	2,000,000	2,000,000	0
山城大学院奨学金引当特定預金	900,000	0	900,000
文園留学支援奨学金引当特定預金	4,000,000	0	4,000,000
学生サポート奨学金引当特定預金	1,565,800	0	1,565,800
校友会教育備品費引当特定預金(資産)	8,750,900	8,250,900	500,000
校友会奨学金引当特定預金(資産)	2,650,000	2,100,000	550,000
第3号基本金引当資産	1,080,751,379	1,040,721,379	40,030,000
預託金	81,130	77,950	3,180
流動資産	9,487,329,086	9,370,655,438	116,673,648
現金預金	9,228,111,658	9,193,871,767	34,239,891
未収入金	245,905,473	171,786,457	74,119,016
貯藏品	2,289,755	1,866,685	423,070
前払金	10,392,200	1,550,529	8,841,671
仮払金	0	0	0
短期貸付金	630,000	1,580,000	△ 950,000
資産の部合計	25,426,429,138	24,248,285,159	1,178,143,979

【負債の部】

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	2,048,288,265	2,147,815,728	△ 99,527,463
長期借入金	700,360,000	800,720,000	△ 100,360,000
退職給与引当金	1,347,928,265	1,347,095,728	832,537
流動負債	2,412,744,280	2,513,004,870	△ 100,260,590
短期借入金	100,630,000	101,580,000	△ 950,000
未払金	218,018,540	271,471,693	△ 53,453,153
前受金	1,944,795,915	1,983,439,515	△ 38,643,600
預り金	149,299,825	156,513,662	△ 7,213,837
負債の部合計	4,461,032,545	4,660,820,598	△ 199,788,053

【基本金の部】

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	15,977,080,430	15,245,608,765	731,471,665
第2号基本金	850,139,567	1,150,000,000	△ 299,860,433
第3号基本金	1,080,751,379	1,040,721,379	40,030,000
第4号基本金	262,000,000	262,000,000	0
基本金の部合計	18,169,971,376	17,698,330,144	471,641,232

【消費収支差額の部】

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収支超過額	2,795,425,217	1,889,134,417	906,290,800
消費収支差額の部合計	2,795,425,217	1,889,134,417	906,290,800

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	25,426,429,138	24,248,285,159	1,178,143,979

注 記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

● 徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込み額を計上している。

● 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額1,194,446,478円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

● 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

● たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法である。

● 所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 5,837,323,159円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地(学校用地) 20,707㎡ 168,051,018円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額828,774,870円

7. その他財産及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

	勘定科目	当年度(平成20年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	有 価 証 券	270,000,000	281,400,000	11,400,000
	第3号基本金引当資産	199,980,000	202,562,600	2,582,600
	(うち満期保有目的の債券)	有 価 証 券	250,000,000	251,300,000
	第3号基本金引当資産	199,980,000	202,562,600	2,582,600
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	有 価 証 券	119,989,958	109,224,200	△ 10,765,758
	第3号基本金引当資産	0	0	0
	(うち満期保有目的の債券)	有 価 証 券	100,000,000	96,770,000
	第3号基本金引当資産	0	0	0
合 計	有 価 証 券	389,989,958	390,624,200	634,242
	第3号基本金引当資産	199,980,000	202,562,600	2,582,600
(うち満期保有目的の債券)	有 価 証 券	-	-	-
	第3号基本金引当資産	199,980,000	202,562,600	2,582,600

(2) 偶発債務

該当なし

(3) 所有権移転外ファイナンス・リース取引通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

リース資産の種類	リース料総額	未經過リース料期末残高
教育研究用機器備品	703,036,584円	361,303,761円
その他の機器備品	45,718,267円	22,616,379円

(4) 関連当事者との取引

該当なし

※この貸借対照表は、学校法人会計基準(昭和46年4月1日文部省令第16号)に従い作成しており、様式は補助金交付の観点からの表示区分になっています。

学内人事



平成21年4月1日付
【採用】(事務職員)

東京農業大学大学院
生物産業学研究所講師
地域と大学との連携でより良い地域社会づくりに貢献できるように頑張りたいと思います
ですので宜しくお願い致します。

教務部研究支援課
産業総合研究所研究支援助手
仲村 篤(なかむら あつし)



平成21年5月1日付
【採用】(事務職員)

沖縄国際大学大学院地域産業
研究科修士課程修了
「研究所の立上期ということで、日々新鮮な気持ちと緊張の中勤めさせて頂いております。
どうぞご指導・ご支援をよろしくお願い致します。」

教務部研究支援課
沖縄経済環境研究所研究支援助手
喜舎場 梢(きしゃば こそえ)

【訃報】



平成21年7月4日付
【退職】(教育職員)

死亡退職
勤続年数：7年4ヶ月
7月4日午前1時5分、大腸がんのため浦添市内の病院で死去、49歳。横浜市出身。
2001年3月横浜市立大学大学院国際文化研究科博士課程満期退学。学術博士。
2005年～2006年度総合文化学部日本文化学科長就任。

総合文化学部教授
吉野 樹紀(よしの たつひ)

2010(平成22)年度 入学試験日程

	一般入学試験		大学入試センター試験利用入学試験		特別/編入学試験
	前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	後期日程
出願期間	2010年1月4日(月) ～1月13日(水)	2010年2月17日(水) ～2月23日(火)	2010年1月4日(月) ～1月22日(金)	2010年2月17日(水) ～2月23日(火)	2010年1月4日(月) ～1月13日(水)
入学試験日	2010年2月3日(水) ★法律学科 ★経済学科 ★企業システム学科 ★英米言語文化学科 ★社会文化学科 ★人間福祉学科 (心理カウンセリング専攻) ★専門・総合選抜試験 (経済学部/産業情報学部)	2010年 3月4日(木) 全学部・学科 小論文・面接	大学入試センター試験実施日 2010年 1月16日(土)・17日(日) ※個別試験は課さない		2010年 2月4日(木) 全学部・学科
合格発表日	2010年2月17日(水)	2010年3月12日(金)	2010年2月17日(水)	2010年3月12日(金)	2010年2月17日(水)

※10月分参加者含む

2010年度 AO 入学試験実施

2010年度AO入試の出願期間は8月3日(月)～10日(月)で、志願者数は1067名でした。
第2次審査(面談審査)は、第1次審査(書類審査)の合格者794名を対象に9月5日(土)～13日(日)(計4回)に実施し、10月8日(木)に最終合格者439名を発表しました。
最も倍率の高かったのは、企業システム学科の3.21倍、次いで法律学科の2.98倍、地域行政学科・英米言語文化学科の2.84倍の順となりました。
全体の倍率は2.43倍でした。

学 科	募集人員	志願者数	第1次審査 合格者数	最 終 合格者数	倍 率	前年度倍率
法 律	33	122	77	41	2.98	2.42
地 域 行 政	33	128	80	45	2.84	2.38
経 済	34	96	61	42	1.57	1.55
地域環境政策	34	66	66	45	1.47	2.11
企業システム	34	138	98	43	3.21	3.39
産 業 情 報	34	92	77	42	2.19	2.21
日 本 文 化	33	107	95	47	2.28	2.29
英米言語文化	36	125	78	45	2.84	2.86
社 会 文 化	24	58	49	30	1.93	3.56
人 間 福 祉 (社会福祉)	30	76	61	37	2.05	2.50
人 間 福 祉 (心理カウンセリング)	16	59	52	22	2.68	4.19
総 計	341	1067	794	439	2.43	2.58

オープンキャンパス実施

今年もオープンキャンパス(7月5・26日、10月25日)及びミニオープンキャンパス(6月19日・12月11日)を実施しました。オープンキャンパス参加者数は3日間で延べ4229名(学科紹介1981名 体験講座2248名)、ミニオープンキャンパスでは2日間で延べ200名余りでした。

毎回好評頂いている在学生ガイドによるキャンパスツアーを始め、北部地区学生を対象にしたシャトルバスの運行(本学↔名護高校)、オリジナルトートバッグや沖国大特製キャンパスノート等のオリジナルグッズを配布、参加者に満足してもらえるようにより充実した内容を企画しました。

オープンキャンパスの目玉である学科紹介と体験講座では、昨年からの午前と午後それぞれ1コマずつ設定し、見学者が興味のある学科の講座により多く参加できるようになりました。

また、アンケートで多く寄せられた声にお応えして昨年からの体育系・文化系サークルや部活動団体などの協力を得て、サークル紹介見学を実施しました。

学生によるサークル紹介・展示や部活動見学を通して、参加者がより身近に大学生生活の一部を目にすることが出来たのではないのでしょうか。

昼休みを利用したアトラクションでは「琉球風車」「鼓舞楽団浦風」のエイサー演舞、「琉球芸能文学研究会」の琉球舞踊やパフォーマンスサークルによるバルーンアートの実演等、多くの見学者を楽しませてくれました。

見学後に提出してもらったアンケートでは、在学生のガイドによる図書館などの施設見学や進学に関するアドバイスを直接聞けて参考になったこと、学科紹介や体験講座を受けて本学進学への気持ちが強くなったとの嬉しいコメントやテレビCMも大好評の声を頂きました。

次年度以降も、在学生と連携して魅力ある本学のオープンキャンパスを開催したいと考えています。



大学院9月入学試験実施

9月27日(日)、大学院の9月入学試験が実施されました。選考の結果、地域文化研究科6名、地域産業研究科4名、法学研究科4名の計14名が合格となりました。2010年2月14日(日)には、2月入学試験が実施されます。現在、入試要項及び大学院案内を入試センターにて配布しています。詳細については、入試センター(098-893-8945 entchr@okiu.ac.jp)へお問い合わせ下さい。

大学院入学試験日程(2月試験)

出 願 期 間:2010年1月18日(月)～1月26日(火)
入 学 試 験 日:2010年2月14日(日)
合 格 発 表 日:2010年2月23日(火)